

## チャンスを育てて社会生活の花を咲かせよう 群馬パース同窓会のさらなる発展を夢見る

群馬パース大学学長 栗田 昌裕



同窓会ホームページには同窓会報バックナンバーとして、平成十五年の創刊号から平成二十六年までの十六号が掲載されています。皆さんの活躍によって、年々着実に実績が蓄積されてきた経緯が実感できる内容が盛り込まれており、大変嬉しく思います。

人生には「花を咲かせる」チャンスが三回あると私は考えています。

第一は「身体の花」、第二は「社会の花」、第三は「精神の花」と呼びます。これらの三つは順番に人生の前期・中期・後期の花とも呼べます。

第一の花は、身体的に健やかに成長して、成人式を迎え、社会人になるまでの成熟の段階を完成させることです。実は、同窓生はパースで三年間または四年間過ごして卒業し、国家資格を得る過程で、第一の花を咲かせた人達なのです。

第二の花は、就職して業務上の立場を確保し、社会で有用な能力を発揮することです。同窓会の皆さんは、今この段階の花を大きく開花させようとしています。

第三の花は引退して、後進を導くよきガイドとなり、精神をバランスよく整え、人生を完結することです。いずれ同窓生にもその花を咲かせる時代が来るでしょう。

いずれの段階の花を咲かせるときにも、「きっかけ、ブレイクスルー、チャンス」というものがあります。それを的確につかむことを目指してください。

平成二十六年十月、群馬県私立大学スポーツ大会において、群馬パース大学は十二種目中四種目で優勝、二種目で準優勝し、合計八種目で入賞するという快挙をなしました。これは本学のスポーツ歴における大きなブレイクスルーです。本年度はこのスポーツ大会の二十五周年目の節目で、群馬パース大学が主管校を務めたことに加えて体育館が整備されたことも、学生の意欲を高め、努力の機会を増し成果に反映できた可能性があります。

この成果によって、「パースは「意外に」にすごいな」と、自他ともに思い始めることができた大きなチャンスの到来です。これをきっかけとして盛り上げれば、次回は、「パースは『やはり』すごいな」と認められる段階が目指せます。それが達成できたら、「パースは『本当に』すごいな」というさらなる段階につなげられます。夢は広がるのです。

皆さんも、よいきっかけを何かひとつつかんだら、階段を着実に上って、「努力を続け、実績を生み、よい評価と信頼を得る」サイクルを上手に作り出してください。

第一の花をパースで開花させた同窓会のメンバーは現時点で一七四二人。全員が人生中期のまっただ中で、「社会の花」を全開にすべく努力をしていると言えます。

現在でも多くの都道府県で頑張っている皆さんですが、仲間の活躍する都道府県はさらに広がって日本列島を覆っていくでしょう。その過程で、「パースの同窓生は意外にすごいな」↓「やはりすごいな」↓「本当にすごいな」との評価が次第に高まってくることを期待します。

Dum Spiro Spero

～人には生命ある限り希望がある～





# 群馬パース同窓会 理学療法学科支部 主催 「松澤正先生を囲む会」



平成27年3月21日(土)、平成26年度を以って群馬パース大学をご退職される松澤先生を囲む会が高崎ビューホテル3階赤城の間にて執り行われました。

理学療法学科短大1期生から大学7期生までの実に117名もの同窓生が

駆けつけ、松澤先生のご退職を惜しみながらもお祝いしました。

また、会場のあちこちで久しぶりの<sup>かいこう</sup>邂逅に喜びの声があがり、和やかな雰囲気の中で3時間があっという間に過ぎていきました。





## 退職にあたって

松澤 正



私が群馬パース大学に来たのは、平成十三年四月でした。当時は看護短期大学の一期生が卒業したばかりでした。一期生に合わせて保健師課程が一年課程で出来ました。その翌年、理学療法士養成課程を作る準備で本学に着任しました。着任すると、看護学科長が急遽退職され、学科長不在となり、私が看護学科長になること

になりました。看護については、何もわからな  
いまま一年間勤めました。それと併せて理学療  
法学科の立ち上げに勤めました。平成十四年四  
月には、カリキュラム作成、教員の確保、臨床  
実習施設の確保、理学療法棟の完成をみて、理  
学療法学科の開設にこぎ着けました。

高山村と云う山里で、多くの学生が寮生活を  
していたので、教員も職員も家族的雰囲気の中  
で教育が行われていたように思います。

私も週に三日は寮に泊まり、食事も学生と共  
に食べていました。夜遅くまで玄関ラウンジで  
勉強したり、体育館ではフットサル、バレーボー  
ル、バスケットボールなどを学生の皆様が練習  
をしていました。このような雰囲気が群馬パー  
ス学園の伝統になっていたものと思います。  
そして、高山での生活が本学の伝統となり、卒  
業生の皆様方が職場においても家族的雰囲気  
を作り出して、職場に親しんでいることが、群馬  
パース大学の卒業生の評判を良くしているのだ  
と思います。

このような伝統は、四大になっても教職員と  
学生の間を近くして保たれていると思います。  
とかく組織が大きくなると教職員や学生の間が  
薄れてくると言われていますが、そのようなこ  
とがないように教職員と学生の皆様方の協力が  
必要であり、更に、大学に卒業生が遊びにこら  
れるような大学にしておくことが大切です。そ  
のためには敷居の低い大学にすることができ、  
各種行事に卒業生が来られるような大学になれ  
ば良いと考えています。

私は、二〇一五年三月に十四年間の群馬パー  
ス大学の教育を卒業し、今後は自由な生活をし  
ていきたいと思っています。  
卒業生の皆様方の活躍を期待して、群馬パー  
ス大学の発展に貢献していただきたいと思います。





# 平成27年度 群馬パース同窓会総会 開催日決定



**日時：平成27年6月27日（土）**  
**13：00～開始予定**  
**場所：群馬パース大学 8F PAZホール**

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 1-7-1  
 ※ JR 上越線「高崎問屋町駅（問屋口）」より  
 徒歩 10 分

## ■スケジュール■

受付 12：30～13：00  
 総会 13：00～13：45  
 特別講演 14：00～15：00  
 懇親会 15：30～16：30

※当日の状況によりお時間が前後する可能性があります。

## ◆特別講演◆

**渡部陽一氏**  
**戦場の医療現場から(仮)**

戦場カメラマン / ジャーナリスト

■経歴■ 1972年9月1日、静岡県富士市生まれ。戦争の悲劇とそこで生活する民の生きた声を体験し、世界の人々に伝えるジャーナリスト。学生時代から世界の紛争地域を中心に取材を始める。イラク戦争では米軍従軍取材を経験し、世界情勢の流れを現場で取材し続けている。



上記のとおり、同窓会総会・研修セミナーを開催することになりました。同窓生の皆様におかれましてはお忙しいところですが、多数ご出席くださいますようお願いしております。

なお、準備の都合上、出欠の有無とご欠席の場合の「委任状」は、同封の返信用紙にて FAX をいただくか、同窓会ホームページからご連絡ください。

## ■当日の駐車場について■

右図のとおり、ビエント高崎の駐車場を借用しました。お車で来校される同窓生は先着順に駐車してください。

ご不明な点は下記までご連絡ください。

メディカルサフラン  
 群馬パース同窓会 連絡窓口  
 TEL：027-381-6002  
 FAX：027-388-0909  
 MAIL：alumni@paz.ac.jp



## 出欠の確認方法

- ・ 同封の「確認用紙」を FAX
- ・ 同窓会ホームページから申し込み

FAX：027-388-0909  
<http://www.paz.ac.jp/>



## 医療法人社団日高会 日高病院 急性期リハビリ室



### 岩井 優香

(大学理学療法学科 3期生)

卒業後、医療法人社団日高会へ入職して5年目を迎えました。入職後、日高リハビリテーション病院にて回復期でのリハビリを2年間経験し、現在は日高病院の急性期リハビリ室にて勤務しています。主に、内科を

担当しており、時には呼吸器や進行性疾患の患者さんを担当させて頂くこともあります。

急性期での勤務は、回復期では経験する事の出来なかった新しい経験ができ、悩むことも多いですがとても充実しています。当たり前のことかも知れませんが、急性期では、昨日まで普通に生活していた状況が一変する方や、入退院を繰り返す方も少なくはなく、様々な不安を抱えていると思われれます。そのような患者さんやご家族に対して自分自身は何が出来るのかを考え、日々の臨床に取り組んでいます。知識や技術の習得はもちろんのこと、不安を和らげるためのコミュニケーション能力も臨床に取り組む上でとても重要なことだと改めて感じています。

日々、患者さん、ご家族や同業種、多職種の方々と関わらせて頂く中で、とてもたくさん良い刺激を頂いています。そして、私がこうして理学療法士として働いている今があるのは、学生時代の先生方からの熱心なご指導や同じ目標に向かって学んだ仲間がいたからだと思えます。これからも様々な方への感謝を忘れずに、自分自身も周囲へ良い刺激を与えられるような理学療法士として、自分なりの専門性を高めていけるように日々取り組んでいきたいと思えます。

## 富岡地域医療事務組合 公立七日市病院 勤務

### 神戸 沙弥香

(大学看護学科 6期生)



現在、公立七日市病院で勤務させて頂いています。私が医療の道を選んだきっかけは、高校3年時担任だった先生の一言でした。当時卒業後の進路を決める際、私は介護関係の仕事に就きたいと考えていました。そのことを先生に伝えると、だったら看護師はどう？と言われたのがきっかけです。そこから看護師になりたいという気持ちが強くなり、群馬パース大学へ入学することとなりました。初めの頃は不安に思うことも多くありましたが、4年間でたくさんの大切な思い出ができました。実習や国家試験を仲間と支え合いながら乗り越えられたこと。友達と飲み会や旅行に行ったこと。硬式野球部に入部し、先輩や後輩、指導者の方たちや他の学校の関係者など、たくさんの人と交流することができたこと。まだまだありますが、どれも私にとってかけがえのない思い出です。平成26年4月から勤務が始まり、入院対応や治療の多い病棟に配属になりました。忙しい病棟ですが、スタッフの皆さんが本当に優しく働きやすさを感じています。また、知識や技術に乏しい部分が多々ありながらも、患者さんからの感謝の言葉や、時に厳しいご指導もありますが先輩に褒められたりすることでやりがいを感じる事ができています。これからも向上心と笑顔を忘れず精一杯頑張ります。

現在、公立七日市病院で勤務させて頂いています。私が医療の道を選んだきっかけは、高校3年時担任だった先生の一言でした。当時卒業後の進路を決める際、私は介護関係の仕事に就きたいと考えていました。そのことを先生に伝えると、だったら看護師はどう？と言われたのがきっかけです。そこから看護師になりたいという気持ちが強くなり、群馬パース大学へ入学することとなりました。初めの頃は不安に思うことも多くありましたが、4年間でたくさんの大切な思い出ができました。実習や国家試験を仲間と支え合いながら乗り越えられたこと。友達と飲み会や旅行に行ったこと。硬式野球部に入部し、先輩や後輩、指導者の方たちや他の学校の関係者など、たくさんの人と交流することができたこと。まだまだありますが、どれも私にとってかけがえのない思い出です。平成26年4月から勤務が始まり、入院対応や治療の多い病棟に配属になりました。忙しい病棟ですが、スタッフの皆さんが本当に優しく働きやすさを感じています。また、知識や技術に乏しい部分が多々ありながらも、患者さんからの感謝の言葉や、時に厳しいご指導もありますが先輩に褒められたりすることでやりがいを感じる事ができています。これからも向上心と笑顔を忘れず精一杯頑張ります。

## 社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院 リハビリテーション科



### 平川 功太郎

(大学理学療法学科 1期生)

私は千葉県松戸市にあります千葉西総合病院で理学療法士として勤務しています。入職して今年で7年目になります。当院は総合病院として運動器、脳血管、呼吸器、心臓、がんリハビリテーションの施設基準を持ち、さらに系列の老健施設や訪問ステーションもあるので、様々な疾患の方々に携わることができています。

現在は外科で術後の急性期を中心に、ICU、ベッドサイドでリハビリをする機会が多くあります。学生時代に机上で学んだことを土台としながらも、臨床の場ではさらに進んだ知識や技術、臨床的思考を要求され、戸惑いや無力さを感じる事が多々あります。しかし、そういった壁にぶつかるたびに、悩み、考え、時にはチームで話し合いながら問題を解決し、自分の経験としていくことに楽しさを感じています。

臨床の経験を重ねるにつれて年々学術活動の意義を感じる事が多くなり、機会があるごとに学会や研修に参加しています。そこで学生時代の同期や先輩方、後輩が活躍されている姿をみることもあり、大きな刺激を受けています。

今でも大学時代の仲間に出会うと、当時の思い出やお互いの現状を語り合ったり、ばか騒ぎしたりと職場とはまた違った自分を出す事ができています。その存在はとてもありがたく、一生の宝物となっています。



News!

# PAZ Group 5つ目の法人誕生 社会福祉法人パースの森

2014年9月19日、PAZ Group5つ目の法人となる「社会福祉法人パースの森」が誕生しました。社会福祉法人パースの森では、法人の設立と同時に「特別養護老人ホーム 小野子ヒルズ」開設に向け、準備を開始いたしました。2015年9月開設予定の渋川市小野子地区初の高齢者施設「特別養護老人ホーム 小野子ヒルズ」が地域のオアシスとなるよう万全の態勢で開設に臨みます。



※完成予想図

※群馬県渋川市小野子 3516-1

## 寄付金のお願い

### 募集要項

1. 募金の名称 特別養護老人ホーム小野子ヒルズ  
新設事業
3. 募金額 一口 1,000円
4. 募集期間 自 平成26年9月16日  
至 平成27年8月31日
5. 申し込み方法 最寄りの金融機関よりお振込みください。

### 振込先

群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金 0943880  
社会福祉法人パースの森

### 問合せ先

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町 5-1  
社会福祉法人パースの森 事務局 (寄付金担当)  
TEL:027-310-5115 FAX:027-310-5553

## M+S Medical+Safran 医療職の無料就職相談サポート

卒業生すべての皆さまの  
再就職・転職をご支援いたします。  
まずは、お気軽にご相談ください。



## メディカルサフランからのお知らせ

この度、メディカルサフランでは群馬パース同窓会の運営をサポートさせて頂くことになりました。これまで以上に情報を発信し、同窓生の皆様に喜んで頂けるような企画などを考え、同窓会の発展に貢献してまいります。同窓生の皆様どうぞ宜しくお願い致します。

☎ 027-381-6002 (8:30-18:00)

🚗 高崎市問屋町西 1-7-2 アーバンK・F103

✉ info@medical-safran.com

メディカルサフラン

検索



## 同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
2. 同窓会報の作成・発行
3. 同窓会ホームページの管理
4. 総会、懇親会の運営  
等の業務を行っています。

これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。

1. 住所・氏名・職場に変更があった方
2. 同窓会報に寄稿したい方
3. 支部会を組織したい方

### 連絡窓口

〒370-0007 高崎市問屋町西 1-7-2  
アーバンK・F103  
メディカルサフラン  
TEL: 027-381-6002  
FAX: 027-388-0909  
E-mail: alumni@paz.ac.jp